

ウィズ・アフターコロナ秋田ビジョンについて

新型コロナウィルスに関する当面の対応指針

1 ビジョン策定に当たって

【策定の趣旨】

新型コロナウィルスの世界的な流行

人口集中の「負の側面」が浮き彫りに

パラダイムシフト
〔社会経済情勢や
価値観の変化〕

- ・東京一極集中の流れを変える契機
- ・リスクに対応できる強靭な産業構造への転換
- ・食料の確保や再生可能エネルギーの導入など本県の「強み」の重要性が増大

【本県の「強み」を生かした産業振興と「DX」の推進】

- 各分野のデジタル化によりDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進
- 「人材誘致」や「生産部門等の分散再配置」
- 新たなサプライチェーンの構築と企業の競争力強化を促進
- 本県の「強み」を生かしながら各分野の施策を展開

【ビジョンの位置づけ】

- 第3期プランを補完するものとして、
　　・**ウィズコロナ…コロナ禍にあっても進める取組**
　　・**アフターコロナ…コロナの一定の収束後を見据えて取り組むべき施策**の方向性
- 各施策の推進に当たって不可欠な「医療提供体制と検査体制の確保」の取組を示す。

2 感染拡大の影響を踏まえた各戦略の取組の方向性（ウィズコロナ）

戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略

【新たな視点】

- 地方への人の流れの加速化を見据えた「人材誘致」
- ICTを活用した新しい働き方への対応

【取組の方向性】

- リモートワークの普及に対応した「人材誘致」に向けた拠点の整備
- 多様なメディアによる移住情報の発信強化
- ワーケーションを活用した関係人口の創出
- 地域課題の解決に取り組むNPO法人等への支援

戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略

【新たな視点】

- ICTを活用した新しいビジネスモデルの普及
- 生産部門等の分散再配置を見据えた県内拠点化への取組の強化

【取組の方向性】

- 感染症検査機器の増産の支援とヘルスケアビジネスの創出
- タッチレス等非接触・非対面型対応商品開発の促進
- リスクに対応した企業規模の拡大や経営の多角化等への支援
- サテライトオフィス等の活用による首都圏等企業の県内拠点化

戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

【新たな視点】

- 地方回帰の流れを捉えた新規就業者の確保
- 農林水産物の新たな販売ルートの開拓

【取組の方向性】

- オンラインを活用した新規就業者の確保
- 省力化・省人化による生産拡大や高品質化の推進
- 秋田牛や青果物の販路の多元化
- 新たなコメ・ビジネスの展開

戦略4 秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略

【新たな視点】

- 新しい旅行ニーズへの対応
- ICTを活用した秋田の売り込みや発信の強化

【取組の方向性】

- マイクロツーリズム等に対応したコンテンツづくり
- ワーケーションの普及に対応した受入態勢の整備
- オンライン商談会等を活用した県産品の輸出促進
- 動画配信等を活用した芸術文化活動とスポーツ活動の推進

戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略

【新たな視点】

- 外出自粛等に伴う運動不足や不安の解消
- ICTを活用した医療・介護の提供

【取組の方向性】

- コロナ禍における健康づくりの啓発
- 非対面式の悩み相談体制の充実
- オンライン病院説明会等を活用した医療従事者の確保
- IoTを活用した総合的な見守り活動の推進
- 介護施設等の施設間連携体制の構築

戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略

【新たな視点】

- 学校生活における感染防止策の徹底と「学びの保障」への対応
- 新たな学習の形態の構築

【取組の方向性】

- オンラインを活用したキャリア教育の推進
- ALT等によるグローバル教育の推進
- 「1人1台タブレット端末」の整備
- 高等教育機関のオンライン活用に対する支援
- ICTを活用した芸術・文化体験機会の提供

4 県民の生命と健康を守る医療・検査体制の拡充等

社会経済活動の維持・向上に不可欠な医療・検査体制の確保に万全を期すとともに、感染拡大防止に向け、各種取組を推進する。

安定的な医療提供体制の整備

- 感染の拡大局面を見据えた入院医療体制の拡充
- 軽症者等の宿泊療養施設の拡充
- ICTを活用した医療提供体制の整備

検査体制等の強化

- PCR等検査体制の強化
- 新技術の導入等を踏まえた検査能力の増強
- 県内で出産予定の妊婦に対するPCR検査の実施
- フォローアップセンターの設置等

感染拡大の防止に向けた各種取組

- 秋田県版新型コロナ安心システムの普及
- インフルエンザ予防接種の周知
- 感染拡大防止に向けた職場環境の整備
- 飲食店等におけるガイドライン遵守の徹底に向けた取組
- 県内企業による医療物資の供給体制強化
- 災害発生時における避難所の感染防止対策

3 アフターコロナを見据えた施策の方向性

「DX」の重要性を踏まえ、各分野の施策における高速通信環境の活用やデジタル化を加速するとともに、今後起こり得る様々なリスクに対応するための施策や本県の優位性を生かした施策を推進する必要がある。

① 定着回帰・地域社会づくり

- リモートワーク等を活用する企業のニーズを踏まえた人材誘致など首都圏等からの移住の拡大
- オンラインと対面を効果的に組み合わせた県内就職支援の充実
- 関係人口の拡大による地域社会の形成

② 地域産業振興・企業誘致

- 新たなサプライチェーンの構築と企業間連携の促進
- 新しい医療機器・システム開発への支援
- ローカル5G等の導入によるスマートファクトリー化への支援
- 商業・サービス業の業態転換の促進
- 協業化、M&Aを含めたグループ化等の推進
- 高速通信環境を備えたサテライトオフィス等を活用した企業誘致の促進

③ 食料・エネルギー

- 食料安全保障に貢献する供給力の向上と販路の多元化
- 自動運転農機の導入などデジタル技術を活用したスマート農業の推進
- 洋上風力等再生可能エネルギーの導入支援

④ 観光・交通ネットワーク

- VRやARなど最先端技術を活用した観光コンテンツづくり
- アウトドアツーリズムの推進
- インバウンドを含めた本格的な誘客プロモーションの再開
- Maas等を活用した地域公共交通の利便性向上と新たなエリアからの誘客
- 地方への機能分散を見据えた高速道路ネットワーク等の社会資本整備

⑤ 医療

- オンライン診療などデジタル技術を活用した医療提供体制の確保

⑥ 教育

- 対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の学習環境の推進

⑦ 行政

- デジタル・ガバメントの構築